

河川レンジャーの募集から任命までの流れ

河川レンジャーの募集から任命にあたっては、「レンジャーづくりはレンジャーで」という共通認識のもと、河川レンジャーの自主的な取り組みのなかで実施されてきた。

1. 「レンジャーづくりはレンジャーで」の仕組み

(1) 河川レンジャー応募から任命までの流れ

淀川管内河川レンジャーになるには、淀川流域に在住する満 18 歳以上の男女を対象に実施される淀川発見講座およびレンジャー養成講座を受講した上で、プレゼンテーション審査を受けることが必要である。プレゼンテーション審査において代表者会議から推薦を受けた者が、各出張所管内運営会議より河川レンジャーに任命される。

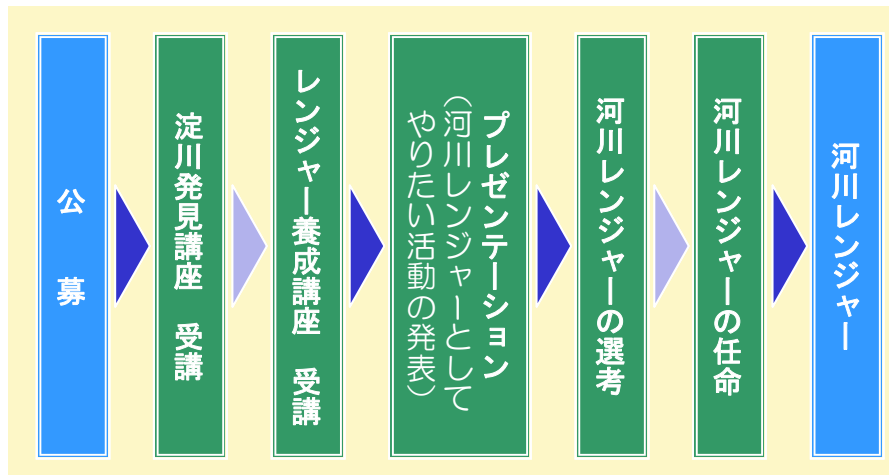


図 1 河川レンジャーの募集から任命まで

(2) 河川レンジャー実行委員会による「レンジャーづくりはレンジャーで」

淀川管内河川レンジャー会議は、河川レンジャーとしてふさわしい活動の推進及び河川レンジャーによる自主的な運営を目指して設置された機関で、様々な課題について議論を行うため、河川レンジャー実行委員会が月 1 回程度開催され、必要となる計画の立案などを行っている。

河川レンジャーになるために受講が必須となっている講座についても、淀川管内河川レンジャー実行委員会が講座内容の企画、運営を行っている。昨年から作業部会として講座部会を設置し、プログラムの詳細に至るまでレンジャー自身で検討が行われるなど、「レンジャーづくりはレンジャーで」が実践されている。

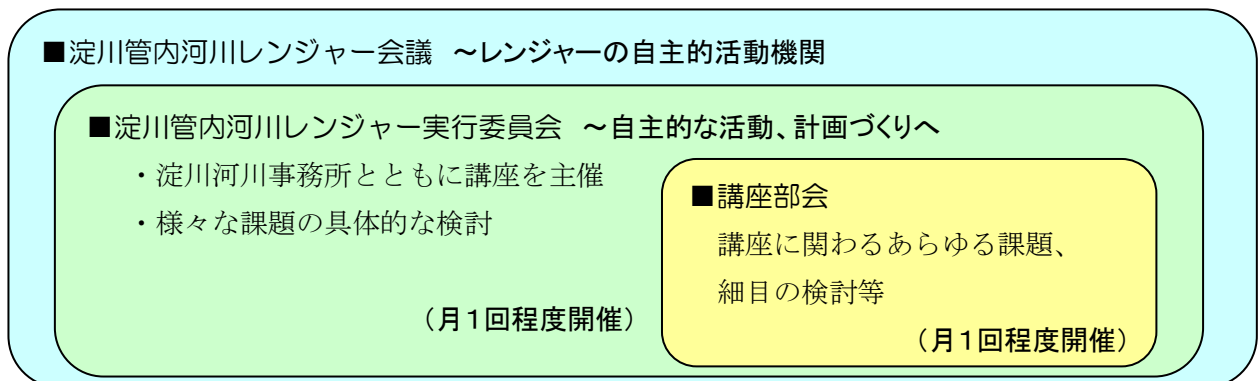


図 2 「レンジャーづくりはレンジャーで」の仕組み

2. 「淀川発見講座」および「レンジャー養成講座」実施概要

淀川発見講座

大阪会場、京都会場の2会場で2日間にわたって開催された。参加者は合計66名（大阪43名、京都23名）である。発見講座は河川レンジャーへの第1歩であると同時に、一般の方々に淀川への関心を深めていただくことも目的としている。

会場	大阪会場	京都会場
日時	平成24年6月2日(土) 9:10~17:00	平成24年6月3日(日) 9:10~17:00
場所	中央流域センター	上流域流域センター
受講生	43名(申込み60名)	23名(申込み28名)
いい川・いい川づくり最前線(1時間)	講師：片寄俊秀氏(大阪人間科学大学教授) ①川のうたの紹介 ②川の魅力と川遊び ③三面コンクリート張水路のルーツ ④安全だからこそ「いい川」 ⑤いい川・いい川づくりに向けて ⑥今、河川レンジャーの出番	
淀川の特性と治水・環境(1時間30分)	講師：綾史郎氏(大阪工業大学教授) ①淀川水系の概要 ②淀川の主要工事 ③河川空間と生態系 ④環境を考えた治水の取り組み ⑤環境を考えた利用の取り組み	
淀川のなりたち(1時間)	講師：八木滋氏(大阪歴史博物館学芸員) ①淀川の名称 ②淀川・大阪の地形の変遷 ③仁徳天皇の治水 ④淀川と文学 ⑤秀吉の治水事業 ⑥江戸時代の治水・舟運 ⑦淀川の漁業・洪水 	講師：三木善則氏(御香宮神社宮司) ①古代の伏見の様子 ②巨椋池と上流三川・淀川 ③淀川舟運の繁栄と衰退 
淀川探訪(2時間)	講師：八木滋氏・大澤研一氏(大阪歴史博物館学芸員) ○枚方宿を巡り、淀川資料館と鍵屋資料館を見学 	講師：三木善則氏(御香宮神社宮司) ○伏見宿を巡り十石舟に乗船し、三栖閘門資料館を見学 
河川レンジャーの概要・養成講座について(30分)	説明：松岡徹氏(淀川管内センター河川レンジャー) ①河川レンジャーとは ②河川レンジャーの活動内容と状況 ③活動の流れと目指す方向 ④河川レンジャーになるには 質疑応答	

レンジャー養成講座

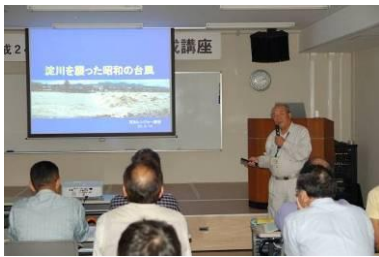

3日間にわたり開催され、参加者は32名のうち、27名が3日間とも受講し、修了した。土のう作り体験や木津川での危険箇所調べ、ワークショップ演習も行われるなど、将来的なレンジャー活動を意識した、実践的でバラエティに富んだプログラムとなっている。

表1 レンジャー養成講座 開催概要

	日時	場所	受講者数
1日目	平成24年6月16日(土) 9:40~16:40	中央流域センター	30名
2日目	平成24年6月23日(土) 9:55~17:20	木津川出張所管内流域センター 木津川現場	28名
3日目	平成24年6月30日(土) 9:25~16:35	中央流域センター	29名


1)1日目

科目等	内容	
開講式 9:40~9:50	酒井実行委員長の挨拶 など	
河川レンジャーへの理解 【理念編】 9:50~10:50 (1時間)	講師：上田レンジャー ①市民参画とは ②川の市民活動の必要性 ③河川レンジャー誕生の背景 ④河川レンジャーの人物像 ⑤河川レンジャーの現状と課題 ⑥川づくりの課題 ⑦市民参画・協働の川づくりの方向性	
河川レンジャーへの理解 【活動事例編】 9:50~10:50 (1時間)	講師：池宮レンジャー、中川(ゆ)レンジャー、田中レンジャー、上田レンジャー(質疑応答) ①池宮レンジャー 地域の人々を河川へ導く活動を紹介し、川のことを知らない人々を活動に巻き込む重要性を説明 ②中川(ゆ)レンジャー 身体障害者と淀川をつなぐ活動を紹介し、河川レンジャー1年目の苦勞とやりがいを説明 ③田中レンジャー 木津川レンジャー全体の活動と個人の活動を紹介し、現役世代でも“いい川づくり”に向けて楽しんで活動していることを説明 ④質疑応答 4名の河川レンジャーと受講生との質疑応答を行い、河川レンジャーへの理解を深めた。	 
淀川の水と生活 13:00~14:00 (1時間)	講師：横山達也氏(元大阪市水道記念館 管理課長) ①淀川からの取水状況 ②水需要の推移 ③淀川水系特有の水問題 ④水道の水質と浄水システム ⑤飲み水の歴史 ⑥災害への取り組み	


科目等	内容	
水害と水防 【講義】 14:10～15:10 (1時間)	講師：杉永正光氏（元淀川左岸水防事務組合 収入役） ①淀川水系の概要 ②治水の歴史（茨田堤・太閤堤） ③明治大洪水 ④大正大洪水 ⑤洪水と淀川改修 ⑥昭和の高潮洪水 ⑦水防とは・水防団とは	
水害と水防 【屋外実習】 15:25～16:35 (1時間)	講師：杉永正光氏（元淀川左岸水防事務組合 収入役） ① 水防用具の使い方 ② 土のうづくり ③ 土のう積み	
閉会 16:35～16:40	2日目の案内と注意事項の説明 など	

2) 2日目

科目等	内容	
開会 9:25～9:30	本日のプログラムの説明 など	
淀川の自然 【講義・屋外実習】 9:30～12:00 (2時間 30分)	講師：河合典彦氏（淀川環境委員会 水域環境部会長） (講義) ① 淀川水系の環境特性 ② 本川・上流三川の河相 ③ 淀川の外来種 ④ 河川改修による河川環境の変化 ⑤ 環境保全・再生の取り組みとレンジャー活動 ⑥ 水生生物による水質調査 (屋外実習) ① パックテストによる簡易水質調査(山田レンジャーによる解説) ② 河川特性調査の方法(透視度・流速) ③ 漁具の紹介	 
水辺の安全 【講義・屋外実習】 12:45～17:00 (4時間 15分)	講師：田中謙次氏（RAC トレーナー、環境文化研究所主任研究員） (講義) ① 安全な川遊びの留意点 ② 川の危険箇所とそのリスク (屋外実習) ③ 木津川開橋周辺の危険箇所調べ(ウォーキング) (講義) ④ 危険箇所のまとめ ⑤ 質疑応答 (屋外実習) ⑥ ライフジャケット・リバーヘルメットの着用方法 ⑦ スローロープによる救助法とその体験 ⑧ 質疑応答 (講義)	 

科目等	内容
	⑨ 水辺活動での安全対策の考え方と具体策 ⑩ ヒヤリ・ハットの共有の重要性 ⑪ 質疑応答 
閉会 17:00～17:05	3日目の案内 など

3) 3日目

科目等	内容
開会 9:25～9:30	本日のプログラムの説明 など
川活動のノウハウ 9:30～12:30 (3時間)	講師：田中謙次氏 (RAC トナ、環境文化研究所主任研究員) ① アイスブレイク ② 河川レンジャーとしてやりたいことを出し合って6つのグループに分類 ③ 川に学ぶ体験活動の理念の講義 ④ プログラムづくりの講義 ⑤ グループごとに河川レンジャーとしてやりたい活動のプログラムづくり ⑥ グループごとに作成したプログラムの発表と質疑応答 ⑦ まとめ 
河川のルールと利用マナー 13:30～15:00 (1時間30分)	講師：井村 誠之氏 (元近畿地方整備局 水政課長) ① 河川の利用マナー (自由使用を妨げない利用・使用と許可使用) ② 自由使用妨げた使用の是正事例 ③ 淀川のホームレスと河川巡視 ④ 河川の異常時 (治水・利水) を担う河川管理者と平常時 (環境) を担う河川レンジャー ⑤ 河川管理者とは ⑥ 河川区域と自由使用を妨げる施設等と人への対処 ⑦ 質疑応答 
これからの淀川 15:10～16:10 (1時間)	講師：橋本 豊治氏 (淀川河川事務所 副所長) ① 淀川の概要 (流域、河川の縦断勾配、琵琶湖と上流三川、ダムと淀川大堰) ② 淀川の歴史 (流路の変遷、舟運、洪水と改修工事) ③ これからの淀川「整備計画」 ④ 代表例 (桂川下流ワークショップ) ⑤ 災害応援について (東日本大震災、和歌山・奈良の台風12号災害) ⑥ 質疑応答 
閉講式 16:10～16:35	① 河川レンジャー審査の説明 ② レンジャー活動演習の説明 ③ 橋本副所長の挨拶 ④ 修了証書の授与 

3. 広報とその効果

関連自治体のご協力を得て、区役所や図書館等の公共施設においてポスター、チラシの掲示等が行われるとともに、数多くの広報誌に淀川発見講座の開催案内が掲載された。

受講生を対象に実施したアンケートでは、約30%が情報源として自治体広報誌を挙げている。

表2 掲載された広報誌一覧（順不同、事務局調べ）

No.	広報誌名
1	広報にしよどがわ 平成24年4月号
2	広報もりぐち 平成24年4月号
3	広報ねやがわ 平成24年3月15日号
4	広報ひらかた 平成24年4月号
5	広報たかつき 平成24年3月25日号
6	広報長岡京 平成24年4月1日号
7	広報やわた 平成24年5月号
8	市民しんぶん 伏見区版「きらり伏見」 平成24年4月15日号
9	広報くみやま 平成24年4月1日号
10	宇治市政だより 平成24年4月1日号
11	広報じょうよう 平成24年4月1日号
12	広報京たなべ 平成24年4月1日号
13	広報きづがわ 平成24年4月号

募集しています！

「淀川管内河川レンジャー」

河川レンジャーは、住民と行政が一緒になって川の管理や整備を行うため、両者の橋渡し役となり、さまざまな活動を通じて河川と地域との良好な関係をつくっています。

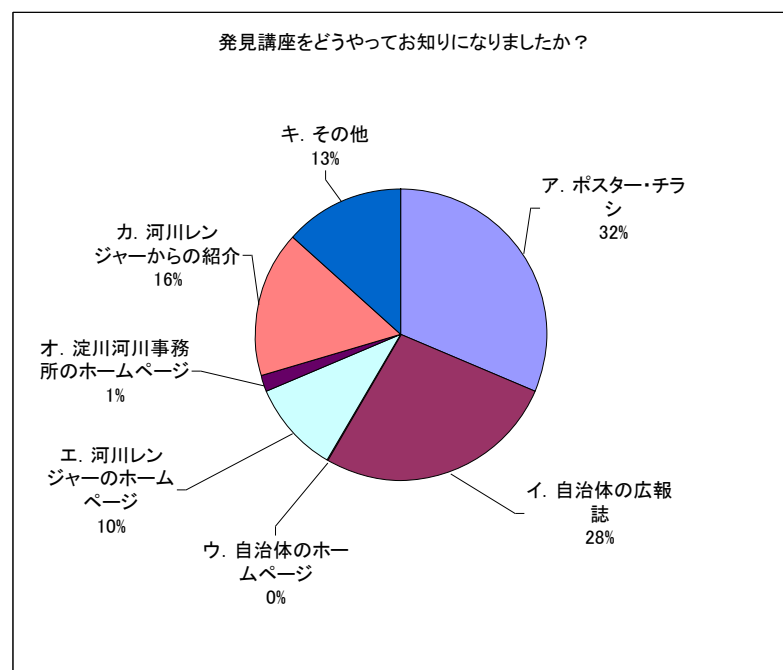
平成15年度から活動を始め、現在31人が活動しています。

河川レンジャーになるためには、「淀川発見講座」「レンジャー養成講座」の受講が必要です。

【淀川発見講座】

▶日時 ○6月2日(土)／大阪会場(枚方) ○6月3日(日)京都会場(伏見) ※受講者には後日「レンジャー養成講座」について通知します 囲・圃4月5日(木)～5月21日(月)に淀川管内河川レンジャー事務局 [☎072(861)6801] へ電話※詳しくはホームページ [http://www.river-ranger.jp/] をご覧ください

広報じょうよう 平成24年4月1日号



大阪会場・京都会場全受講生アンケート結果(66名中有効回答者数55名)

関連自治体のホームページにおいても発見講座の広報が行われており、講座募集期間中、河川レンジャーのホームページへ大阪市都島区、城陽市、八幡市の自治体ホームページからアクセスがあった。

河川レンジャーホームページでは、4～6月に「淀川発見講座」等を検索して訪れる訪問者が増えており、ポスター、チラシや自治体広報誌及びホームページでの広報効果の結果であると考えられる。

表3 発見講座等が紹介された自治体ホームページから河川レンジャーホームページへのアクセス数

	リンク元	合計
1	大阪市都島区	112
2	城陽市	21
3	八幡市	18

(平成24年4～6月,事務局調べ)

淀川発見講座(無料・事前申込)

淀川舟運と京街道の宿場町として栄えた枚方宿を巡り、人と淀川の関わりを学ぶ歴史ウォークです。

【とき】6月4日(土) 9時30分～17時

【ところ】中央流域センター(大阪府枚方市桜町3-32) (京阪「枚方公園駅」)

【対象】淀川・宇治川・桂川・木津川流域在住の18歳以上の方

【定員】60名(先着順)

【締切】5月23日(月) 必着

【申込み・問合せ】ファックスに、住所・氏名・年齢・性別・電話(ファックス)番号・講座名(淀川発見講座)を記入し、国土交通省淀川河川事務所淀川管内河川レンジャー事務局へ。

電話072-861-6801 ファックス072-841-5663

都島区(大阪市)ホームページ

4. プレゼンテーション審査実施と結果

平成 24 年 8 月 26 日（日）に開催された第 8 回代表者会議では、全課程を修了した 15 名がプレゼンテーション審査（5 分発表、5 分質疑）に臨んだ。

代表者会議による厳正な審査、選考の結果、7 名が河川レンジャーとして推薦されている。事務局では 9 月 12 日（水）に全審査申請者に結果通知書の発送を行い、9 月 13 日（木）にホームページ上で河川レンジャー推薦者の受講番号を公表した。

表4 展開計画*及び河川レンジャー推薦者(敬称略)

各運営会議	展開計画	審査申請者数	河川レンジャー推薦者		
福島・毛馬	1 名	4 名	1 名	R12-32	村瀬 りい子
枚方	1 名	4 名	1 名	R12-01	出来 猛
高槻・山崎（大阪府域）	2 名	1 名	1 名	R12-09	原 健二
伏見・桂川・ 山崎（京都府域）	3 名	3 名	3 名	R12-15	東 親志
				R12-30	西田 浩之
				R12-21	谷口 順彦
木津川	1 名	3 名	1 名	R12-20	柴垣 治男
計	8 名	15 名	7 名		

*平成 24 年度河川レンジャー展開計画として、各出張所管内運営会議において本年度河川レンジャーとして推薦される最大の人数が決定されている。



写真 1 第 8 回代表者会議(8/26 中央流域センター)